

Title	京都大学医学部保健学科業績リスト（2004年1月1日～12月31日）
Author(s)	
Citation	京都大学医学部保健学科紀要: 健康科学 (2006), 2: 89-106
Issue Date	2006-03-31
URL	<a href="http://dx.doi.org/10.14989/39583">http://dx.doi.org/10.14989/39583</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

京都大学医学部保健学科業績リスト (2004年1月1日～12月31日)

看護学専攻

論文

Katsura T, Hoshino A: Weight cycling in population-based studies. *Journal of Rural Medicine*, 52(6): 979-991, 2004.

Harada M, Taniguchi M, Ohi M, Nakai N, Okura M, Wakamura T, Tamura M, Kadotani H, Chin K: Acceptance and short-term tolerance of nasal continuous positive airway pressure therapy in elderly patients with obstructive sleep apnea. *Sleep and Biological Rhythm*, 2: 53-56, 2004.

Wakamura T, Sato M, Sato A, Dohi T, Ozaki K, Asou N, Hagata S, Tokura H: A preliminary study on influence of negative air ions generated from pajamas on core body temperature and salivary IgA during night sleep. *International Journal of Occupational Medicine and Environmental Health*, 17(2): 295-298, 2004.

菅 佐和子: 健康人間学と私—心理臨床と健康人間学—. 京都大学医療技術短期大学部紀要別冊健康人間学, 16: 5-6, 2004.

日隈ふみ子: 十分な実践力習得のための教育課程とは. 助産雑誌, 58(3): 29-33, 2004.

日隈ふみ子, 高橋弘子, 鈴木美恵子, 湯舟邦子, 八幡佳子: 助産師国家試験検討報告書: 全国助産婦教育協議会平成15年度事業活動報告書: 2004.

日隈ふみ子: 京都大学医学部保健学科誕生と助産学教育. 京都大学助産婦同窓会報, 2 (通算111号): 2-3, 2004.

藤野聖子, 小出さとみ, 旗手恵子, 長田英恵, 日隈ふみ子: 成熟児におけるカンガルーケア導入の経緯および現状. 京都大学助産婦同窓会報, 2 (通算111号): 8-9, 2004.

中川さとの, 桂 敏樹: 病児保育に関する現状と課題—保護者を対象としたアンケート調査—. 小児保健研究, 63(4): 389-394, 2004.

桂 敏樹, 松田一美, 原 真理, 星野明子: 成人および老人のウェイトサイクリングに関する追跡的研究—企業従業員多数例を用いた検討—. 日本健康医学会雑誌, 13(2): 40-46, 2004.

赤澤千春, 奥津文子, 桂 敏樹, 寺口佐與子, 一宮茂

子: 生体肝移植術を受けた成人レシピエントの術後精神症状の発生と身体的要因との関連について. 日本看護研究学会, 27(5): 49-54, 2004.

大島理恵子, 宮島朝子, 堀田佐知子, 若村智子, 近田敬子: 「まちの保健室」に来談した中高年の睡眠実態の分析. 兵庫県立看護大学附置研究所推進センター研究報告集, 2: 25-32, 2004.

堀田佐知子, 宮島朝子, 大島理恵子, 若村智子, 近田敬子: 「まちの保健室」における睡眠相談活動—女性来談者の睡眠の実態を通して—. 兵庫県立看護大学附置研究所推進センター研究報告集, 2: 33-40, 2004.

小林奈美, 宮島朝子: カナダ・カルガリーの地域ヘルスケア①家族を中心とするモデルに基づく実践. コミュニティケア, 6(3): 54-57, 2004.

小林奈美, 宮島朝子: カナダ・カルガリーの地域ヘルスケア②カウンセリング中心の精神科外来とナースがマネジメントする外来クリニック. コミュニティケア, 6(4): 52-55, 2004.

大徳真珠子, 江川隆子: 糖尿病患者のフットケア行動に対する看護介入の成果. 日本糖尿病教育看護学会誌, 8(1): 13-24, 2004.

本田育美, 神谷千鶴, 栗原宏子, 大徳真珠子, 南茂隆生, 佐藤智己, 奥宮暁子, 宮川潤一郎, 江川隆子: Semmes-Weinstein monofilament を用いた糖尿病性神経障害の評価と有用性—測定部位と判定法の検討から—. 糖尿病, 47(3): 239-245, 2004.

本田育美, 田中マキ子, 小平京子, 成田 伸, 木村義, 奥宮暁子, 城戸良弘, 江川隆子: 看護診断「足の皮膚統合性障害リスク状態」の同定に関する研究. 看護診断, 19(1): 6-15, 2004.

我部山キヨ子, 清野喜久美, 伊藤久美子, 月僧厚子, 平昌功二: 家族立会い分娩が周産期要因の関連性—夫・上子立会い分娩と非立会い分娩の3群比較から—. *Mie Nursing Journal*, 6(1): 17-22, 2004.

山名香奈美, 我部山キヨ子, 宮崎つた子, 金岡 緑: 助産診断に関する文献レビュー. *Mie Nursing Journal*, 6(1): 201-211, 2004.

宮崎つた子, 我部山キヨ子, 森 千春: 性教育経験の受け止めと今後の方向性—中学生の調査より—. 思春期学, 22(3): 345-352, 2004.

野村由司彦, 井口 靖, 宇納進一, 我部山キヨ子,

他：共通教育の飛躍をめざして—2003年度共通教育委員会答申—。共通教育委員会，1-25，2004。

我部山キヨ子：助産学教育における技術教育の現状と将来的展望。助産雑誌，58(3)：15-20，2004。

我部山キヨ子：助産学教育における出生前診断の現状と課題—助産師学生の出生前診断に関する意識調査より—。健康科学，1：7-13，2004。

我部山キヨ子，酒井 浩，片山由美，木戸隆宏，池添冬芽，笹田昌孝：京都大学大学院医学系研究科人間健康科学系専攻設置への期待と要望—在学生を対象とした調査結果から—。健康科学，1：65-72，2004。

赤澤千春，奥津文子，桂 敏樹，寺口佐與子，一宮茂子：生体肝移植術を受けた成人レシピエントの術後精神症状の発生と身体的要因との関係について。日本看護研究学会雑誌，27(5)：2004。

赤澤千春，奥津文子，片山由美：精神・運動領域の学び方の分析—成人看護学急性期の技術演習より—。京都大学医療技術短期大学部紀要別冊健康人間学，16，2004。

若村智子，片山由美，宮島朝子：体温調節のメカニズムから衣服着用の意味を考える。看護展望，29(12)：92-97，2004。

関本美知子，若村智子：夜勤勤務が睡眠および生活リズムに及ぼす影響。第34回日本看護学会論文集（看護管理），267-269，2004。

## 著 書

木之下隆夫，菅 佐和子 編著：クラスに悩む子どもたち。人文書院，京都，2004。

菅 佐和子 編：医療現場に生かす臨床心理学。朱鷺書房，大阪，2004。

日隈ふみ子，他：2005年度出題基準別助産師国家試験対策模擬問題：監修，メディカ出版，49-50，62-65，71-72，87-90，2004。

奥宮暁子，石川ふみよ，佐藤節子，川波公香，江川隆子，他14名：リハビリテーション看護マニュアル。学習研究会，担当部分；343-351頁（総頁数426頁）2004。

江川隆子，今井雪香，倉光広子，藤原正恵，山本洋子，本田育美，瀬田友子，不破有子，矢部淳子，笠岡和子，増田紀子：江川隆子かみくだき看護診断 改定3版。日総研出版，名古屋，2004。担当部分；総頁数163頁（図表を除いた全ての論文と構成と編集）。

江川隆子，本田育美，鷹井清吉，執筆協力者：笠岡和

子（事例提供）：看護診断アセスメントツール：臨床への適応と電子化に向けて。医学書院，東京，2004。担当部分：1-105頁（総頁数119頁）図表と事例を除いた全部と編集。

監修：河盛隆造，久保田稔，江川隆子 編集：清水一紀，松久宗英，池田雅彦 編集協力者：大徳真珠子，小平京子，馬場千恵子，東 めぐみ：合併症を未然に防ぐ糖尿病の治療とケア。医学芸術社，東京，2004。担当部分：編集と123-127頁のフットケアの項（総頁数173頁）。

江川隆子，本田育美，笠岡和子，鷹井清吉：ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断・ヌーベルヒロカワ，東京，2004。担当部分：（総頁数151頁）。

坂田三充，萱間真美，櫻庭 繁，根本英行，松下政明，根本寛編著：精神看護エクスペール1，リスクマネジメント，中山書店，東京，2004。

坂田三充，萱間真美，櫻庭 繁，根本英行，松下政明，根本寛編著：精神看護エクスペール2，看護記録とクリニカルパス，中山書店，東京，2004。

坂田三充，萱間真美，櫻庭 繁，根本英行，松下政明，根本寛編著：精神看護エクスペール3，身体合併症の看護，中山書店，東京，2004。

坂田三充，萱間真美，櫻庭繁，根本英行，松下政明，根本寛編著：精神看護エクスペール4，長期入院患者の社会参加とアセスメントツール，中山書店，東京，2004。

坂田三充，萱間真美，櫻庭 繁，根本英行，松下政明，根本寛編著：精神看護エクスペール5，精神科リハビリテーション看護，中山書店，東京，2004。

坂田三充，萱間真美，櫻庭 繁，根本英行，松下政明，根本 寛 編著：精神看護エクスペール6，救急・急性期I統合失調症，中山書店，東京，2004。

我部山キヨ子，他：看護師国家試験問題解答と解説2005，医学書院，2004。

星野明子，他：保健必修科目エッセンス，地域看護学Ⅱ・Ⅳ，監修 星 旦二，メディカ出版，大阪，102-132，167-173，259-268，2004。

星野明子，他：保健師予想問題集，地域看護学Ⅱ・Ⅳ，監修 星 旦二，メディカ出版，大阪，34-43，59-60，84-88，2004。

## 学会発表

Kamiya C, Honda I, Shintani K, Daitoku M, Egawa T:

The survey of nursing documentation for outpatients. Hemodialysis Patients in Japan Nephro-Asia, 2004.2.9-12, Singapore.

Daitoku M, Egawa T, Kamiya C : Evaluation of nursing interventions on foot self-care behavior in patients with type-2 diabetes mellitus in Japan. NANDA, NIC, NOC, 2004.3.24-27, Chicago.

Kubo M, Sakuraba S, Komoda T : Psychiatric problems of the wives of male alcoholic patients with a high suicidal risk. Association of European Psychiatrists, 12th AEP Congress, 2004.4.18, Geneva (SWITZERLAND), 12th AEP Congress, p 201.

Komoda T, Sakuraba S, Drews T, Hetzer R : Executive cognitive dysfunction without stroke after mechanical support. ASAIO 2004, Washington DC (USA), Artificial Internal Organs, 2004.6, ASAIO 50th Annual Conference Abstract, p 117.

Kabeyama K, Ito K, Gesso A : Comparison of perinatal outcomes between 'family present' and 'family absent' deliveries in Japanese women. Japan Academy of Nursing Science Fifth International Research Conference, 128, 2004.

Kawase H, Kabeyama K, Miyazaki T : Health promotion for junior high school student—Focusing on effects of sex education—. Japan Academy of Nursing Science Fifth International Research Conference, 109, 2004.

Sobue I : Risk factors of alcohol-related problem of Japanese college students in Japan. The 8th International Conference on System Science in Health Care, 1-3, September 2004, Geneva.

Nobata K, Oki M, Manabe T, Kuboyama A, Yamada M, Nakamura Y, Odagaki T, Tatumiya E, Nakayama M, Hayashi H, Sobue I : Knowledge and prevention behaviors of sexually transmitted diseases among Japanese college students. The 8th International Conference on System Science in Health Care, 1-3, September 2004, Geneva.

Ichinomiya S, Akazawa C : THE effects of critical pathways for LRLT donors on their psychosocial problems and satisfaction. Fifth International Nursing Research Conference, August 29-31.2004, Fukushima, Japan Academy of Nursing Science Fifth International Nursing Research Conference, p 44, 2004.

Akazawa C, Okutsu A, Ichinomiya S, Inamoto T,

Katsura T : Postoperative psychiatric disorders and physical conditions of adult LRLT recipients. Fifth International Nursing Research Conference, August 29-31, 2004, Fukushima, Japan Academy of Nursing Science Fifth International Nursing Research Conference, p 45, 2004

Wakamura T, Horita S, Oshima R, Chikata K, Miyajima A : Sleep-wake cycle of human female and seasonal photoperiodic and temperature change in warm-temperate zone. Society for Research on Biological Rhythm, 9th meeting, 2004.6.24-26, Canada, Whistler, Program and abstracts : 276.

Horita S, Wakamura T, Oshima R, Okuno N, Uyama O, Chikata K : Quality of life inpatients with obstructive sleep/hypopnea syndrome after therapy with CPAP. 5th International nursing research conference, Japan Academy of Nursing Science, 2004.8.1, Japan Fukushima, Abstract : 49.

Harada M, Taniguchi M, Ohi M, Nakai N, Okura M, Chin K, Kadotani H, Wakamura T : Long-term use of CPAP in elderly patients with obstructive sleep apnea. 17th Congress of the European Sleep Research Society meeting, 2004.10.6-9, Czech Republic Prague.

神森あすか, 末廣由夏, 江田洋美, 山尾さち, 藤原久美, 日隈ふみ子 : 聴覚障害を理解する一助産師の視点から一. 第13回京都母性衛生学会学術講演会, 2004. 9, 京都.

大徳真珠子, 江川隆子 : 糖尿病患者のセルフケア行動測定のための SDSCA 日本語版尺度開発の試み. 第9回日本糖尿病教育看護学会学術集会 (愛媛), 2004. 9, 愛媛.

齋藤ゆみ, 菅 佐和子 : 色彩映像によるストレス緩和効果の研究. 第5回癒しの環境研究会, 2004. 11. 17-18, 沖縄, 第5回癒しの環境研究会全国大会抄録集, 71-72, 2004.

宮崎つた子, 我部山キヨ子 : 性教育に関する児童・生徒の受け止め. 第18回日本助産学会学術集會集録, 194-195, 2004.

宮崎つた子, 我部山キヨ子 : 中学生における性教育実施後の評価. 思春期学, 22(1) : 81, 2004.

森 千春, 宮崎つた子, 我部山キヨ子 : 中学生の健康行動に関する研究. 第23回思春期学会学術集會講演集, 72, 2004.

佐野和香, 我部山キヨ子 : 第2子誕生周辺期における

母親の第1子への関わり—妊娠期と産褥期の比較—。  
第45回日本母性衛生学会学術集会抄録集, 152, 2004.

森 千春, 宮崎つた子, 我部山キヨ子: 中学生におけるボディイメージとダイエットの関連性—男子学生と女子学生の比較—。第45回日本母性衛生学会学術集会抄録集, 171, 2004.

南田智子, 我部山キヨ子: 初期接触がマザーリングに及ぼす影響—初産婦における産褥早期の愛着の発達について—。第45回日本母性衛生学会学術集会抄録集, 202, 2004.

我部山キヨ子: 産婦の客観的・主観的ストレスの関連性—母体血中および臍帯血中のコルチゾール値の変動—。第24回日本看護科学学会学術集会抄録集, 604, 2004.

岡島文恵, 我部山キヨ子, 坪田明子: コメディカルによる「女性のこころとからだの相談室」における相談の分析。第24回日本看護科学学会学術集会抄録集, 596, 2004.

佐野和香, 我部山キヨ子: 第2子誕生周辺期における父親の第1子への関わり—妊娠期と産褥期の比較—。第24回日本看護科学学会学術集会抄録集, 564, 2004.

三國和美, 我部山キヨ子: 麻酔分娩における助産師の態度に関する研究。第24回日本看護科学学会学術集会抄録集, 598, 2004.

原田優人, 谷口充孝, 大井元晴, 中井直治, 大倉睦美, 角谷 寛, 陳 和夫, 若村智子, 堀田佐知子, 田村仁孝: 睡眠時無呼吸低呼吸症候群診療におけるMallampati Scoreの有用性(第2報)—身体的指標を用いた多重回帰分析法による重症度の予測—。第31回睡眠呼吸障害研究会, 2004. 1. 21, 東京.

土田恵子, 今村律子, 若村智子: PCM(相変換物質)素材を用いた寝具の開発と評価。第20回睡眠環境シンポジウム, 2004. 6. 25, 大阪, 第20回睡眠環境シンポジウム報告集, 27-29, 2004.

若村智子, 大島理恵子, 堀田佐知子, 近田敬子, 宮島朝子: ある日本女性の睡眠覚醒リズムの日長・温度の季節変動が及ぼす影響。日本睡眠学会第29回学術集会, 2004. 7. 1-2, 東京, 日本睡眠学会第29回抄録集: 136, 2004.

堀田佐知子, 原田優人, 谷口充孝, 若村智子, 大倉睦美, 中井直治, 角谷 寛, 陳和夫, 大井元晴: 高齢者群と若年・中年群の睡眠時無呼吸患者のnCPAP治療前後のQOLの違い。日本睡眠学会第29回学術集会, 2004. 7. 1-2, 東京, 日本睡眠学会第29回抄録集: 280,

2004.

原田優人, 谷口充孝, 大井元晴, 中井直治, 大倉睦美, 若村智子, 堀田佐知子, 田村仁孝, 角谷 寛, 陳和夫, 竹上未紗: 重症 OSAHS 患者に対するオートCPAPを用いた在宅導入法についての検討。日本睡眠学会第29回学術集会, 2004. 7. 1-2, 東京, 日本睡眠学会第29回抄録集: 300, 2004

川崎貴世子, 若村智子: 生活リズム調整に関する取り組み—実践可能な生活の工夫—。第11回日本時間生物学会, 2004. 11. 11-12, 滋賀, 時間生物学, 10(2): 156, 2004.

角谷 寛, 若村智子, 堀田佐知子, 中山幸代, 南 一成, 岡靖 哲, 陳 和夫, 谷口充孝, 福原俊一: 睡眠医療の諸専門領域の参加による睡眠健康コホート研究(京都睡眠と健康のコホート研究)—睡眠を中心とした生活時間について—。第11回日本時間生物学会, 2004. 11. 11-12, 滋賀, 時間生物学, 10(2): 160, 2004.

角谷 寛, 中山幸代, 南 一成, 竹上未紗, 森田智史, 福原俊一, 岡靖 哲, 角 謙介, 高橋憲一, 中村敬哉, 陳 和夫, 堀田佐知子, 新井香奈子, 若村智子: 睡眠医療の諸専門領域の参加による睡眠健康コホート研究—京都睡眠と健康のコホート研究(KSHC Study)—。第20回不眠学会, 2004. 12. 14, 東京.

星野明子, 菅原由美: S事業所の訪問看護師にとっての援助の意味, 日本地域看護学会, 2004. 6. 12-13, 大阪, 日本地域看護学会第7回学術集会講演集: 80, 2004.

鈴木和代: 看護婦ナイチンゲールの誕生: 近代看護神話の語りなおし。日本文化人類学会, 第38回研究大会, 2004. 6. 5-6, 東京.

## 検査技術科学専攻

### 論 文

Arai T, Yamada H, Namba T, Mori H, Ishii H, Yamashita K, Sasada M, Makino K, Fukuda K: Effects of intracellular reactive oxygen species generated by 6-formylpterin on T cell functions. Biochem Pharmacol, 67(6): 1185-1193, 2004.

Kotone-Miyahara Y, Takaori-Kondo A, Fukunaga K, Goto M, Hayashino Y, Miki M, Takayama H, Sasada M, Uchiyama T: E148Q/M694I mutation in 3 Japanese patients with familial Mediterranean fever. Int J Hematol, 79(3): 235-237, 2004.

Kotone-Miyahara Y, Yamashita K, Lee KK, Yonehara

- S, Uchiyama T, Sasada M, Takahashi A: Granulocyte/macrophage colony-stimulating factor inhibits Fas-stimulated neutrophil apoptosis by suppressing FADD recruitment:evidence implicating phosphatidylinositol 3-kinase and MEK1-ERK1/2 pathways downstream of classical protein kinase C. *J Leukoc Biol*, 76(5): 1047-1056, 2004.
- Ito T, Nishida N, Fukuda Y, Nishimura T, Komeda T, Nakao K: Alteration of the p14 (ARF) gene and p53 status in human hepatocellular carcinomas. *J Gastroenterol*, 39(4): 355-61, 2004.
- Miyamoto S, Fujita M, Tambara K, Sekiguchi H, Eiho S, Hasegawa K, Tamaki S: Circadian variation of cardiac autonomic nervous activity is well preserved in patients with mild to moderate chronic heart failure: effect of patient position. *International Journal of Cardiology*, 93(2-3): 247-252, 2004.
- Tambara K, Fujita M, Miyamoto S, Doi K, Nishimura K, Komeda M: Pericardial fluid level of heart-type cytoplasmic fatty acid-binding protein (H-FABP) is an indicator of severe myocardial ischemia. *International Journal of Cardiology*, 93(2-3): 281-284, 2004.
- Fujita M, Tambara K: Recent insights into human coronary collateral development. *Heart*, 90(3): 246-250, 2004.
- Tambara K, Fujita M, Sumita Y, Miyamoto S, Sekiguchi H, Eiho S, Komeda M: Beneficial effect of candesartan treatment on cardiac autonomic nervous activity in patients with chronic heart failure: simultaneous recording of ambulatory ECG and posture. *Clinical Cardiology*, 27(5): 300-303, 2004.
- Masuda D, Fujita M, Nohara R, Matsumori A, Sasayama S: Improvement of oxygen metabolism in ischemic myocardium as a result of enhanced external counterpulsation with heparin pretreatment for patients with stable angina. *Heart and Vessels*, 19(2): 59-62, 2004.
- Doi K, Hasegawa K, Fujita M, Yamazato A, Yamanaka K, Watanabe M, Tambara K, Komeda M: Clinical characteristics relevant to myocardial cell apoptosis: analysis of pericardial fluid. *Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery*, 3: 359-362, 2004.
- Sakamoto S, Tambara K, Kambara N, Miyamoto S, Tsukamoto T, Fujita M: Right lateral decubitus position reduces QT dispersion in patients with chronic heart failure. *Journal of Electrocardiology*, 37(3): 201-206, 2004.
- Miwa K, Okinaga S, Fujita M: Low serum  $\alpha$ -tocopherol concentrations in subjects with various coronary risk factors. *Circulation Journal*, 68(6): 542-546, 2004.
- Uemura K, Yamamoto H, Nakagawa T, Nakamura K, Kawasaki N, Oka S, Ma BY, Kawasaki T: Superoxide production from human polymorphonuclear leukocytes by human mannan-binding protein (MBP). *Glycoconj J*. 21(1-2): 79-84, 2004.
- Ishiguro R, Ishikawa O, Yamashita M, Sasaki Y, Fukuda K, Kubota M, Ishimoto H, Packard RE Takagi T, Ohmi T Mizusaki T: Vortex formation and annihilation in three textures of rotating superfluid  $^3\text{He-A}$ . *Physical Review Letters*, 93(12): 125301.1-125301.4, 2004.
- Kitajiri S, Fukumoto K, Hata M, Sasaki H, Katsuno T, Nakagawa T, Ito J, Tsukita Sh, Tsukita Sa: Radixin deficiency causes deafness associated with progressive degeneration of cochlear stereocilia. *J Cell Biol*, 166: 559-570, 2004.
- Funato T: Utility of antioncogene ribozymes and antisense oligonucleotides in reversing drug resistance. *Methods Mol Med*, 106: 215-34, 2004.
- Funato T, Harigae H, Abe S, Sasaki T: Assessment of drug resistance in acute myeloid leukemia. *Expert Rev Mol Diagn*, 4: 705-713, 2004.
- Lee YM, Fujiwara J, Munakata Y, Ishii T, Sugawara A, Kaku M, Kokubun S, Sasaki T, Funato T: A mutation of the glucocorticoid receptor gene in patients with systemic lupus erythematosus. *Tohoku J Exp Med*, 203: 69-76, 2004.
- Aoki H, Satoh M, Mitsuzuka K, Ito A, Saito S, Funato T, Endoh M, Takahashi T, Arai Y: Inhibition of motility and invasiveness of renal cell carcinoma induced by short interfering RNA transfection of beta 1,4GalNAc transferase. *FEBS Lett*, 567: 203-208, 2004.
- Yasui K, Mihara S, Zhao C, Okamoto H, Saito-Ohara F, Tomida A, Funato T, Yokomizo A, Naito S, Imoto I, Tsuruo T, Inazawa J: Alteration in copy numbers of genes as a mechanism for acquired drug resistance. *Cancer Res*. 64: 1403-10, 2004.
- Hoshino A, Funato T, Munakata Y, Ishii T, Abe S,

Ishizawa K, Ichinohasama R, Kameoka J, Meguro K, Sasaki T: Detection of clone-specific immunoglobulin heavy chain genes in the bone marrow of B-cell-lineage lymphoma after treatment. *Tohoku J Exp Med*, 203: 155-164, 2004.

Tohmiya Y, Koide Y, Fujimaki S, Harigae H, Funato T, Kaku M, Ishii T, Munakata Y, Kameoka J, Sasaki T: Stanniocalcin-1 as a novel marker to detect minimal residual disease of Human leukemia. *Tohoku J Exp Med*, 204: 125-133, 2004.

Yumita N, Umemura S: Sonodynamic antitumour effect of chloroaluminum phthalocyanine tetrasulfonate on murine solid tumour. *Journal of Pharmacy and Pharmacology*, 56: 85-90, 2004.

Yumita N, Umemura S: Ultrasonically induced cell damage and membrane lipid peroxidation by photofrin II: mechanism of sonodynamic activation. *Journal of Medical Ultrasonics*, 31: 35-40, 2004.

Sasaki K, Kawabata K, Yumita N, Umemura S: Sonodynamic treatment of murine tumor through second-harmonic superimposition. *Ultrasound in Medicine and Biology*, 30: 1233-1238, 2004.

Yumita N, Okuyama N, Sasaki K, Umemura S: Sonodynamic therapy on chemically induced mammary tumor: pharmacokinetics, tissue distribution and sonodynamically induced antitumor effect of porfimer sodium. *Cancer Science*, 95: 765-769, 2004.

Lee K, Takenaka H, Yoneda Y, Goto T, Sano K, Nakanishi M, Okada M, Tashiro J, Sakurai K, Kubota T, Yoshida R: Differential susceptibility of cells expressing allogeneic MHC or viral antigen to killing of antigen-specific CTL. *Microbiol Immunol*, 48:15-25, 2004.

Morikawa Y, Goto T, Momose F: Human immunodeficiency virus type 1 Gag assembly through assembly intermediates. *J Biol Chem*, 279: 31964-31972, 2004.

Kinomoto M, Mukai T, Li YG, Iwabu Y, Warachit J, Alejandro Palacios J, Ibrahim MS, Tsuji S, Goto T, Ikuta K: Enhancement of HIV-1 infectivity by replacing the region including env derived from defective particles with an ability to form particle-mediated syncytia in CD4+ cells. *Microbes Infect*, 6(10): 911-918, 2004.

片岡秀夫, 天野 殖: 細胞診における免疫電子顕微鏡法, 試料作成と免疫電顕法との適合性について. *医学検査*, 53: 238-242, 2004 (学術研究奨励賞).

## 著 書

笹田昌孝: 血球の動態と機能. 「みんなに役立つ白血病の基礎と臨床」大野竜三, 宮脇修一編, p 29-36, 医薬ジャーナル社, 2004.

山本孝吉, 笹田昌孝: 好中球機能. 日本臨床増刊号「広範囲 血液・尿化学検査, 免疫学的検査—その数値をどう読むか (2) (第6版)」, p 571-574, 日本臨床社, 2004.

笹田昌孝: 組織球の増殖する疾患. 「血液の事典」平井久丸, 押味和夫, 坂田洋一編, p 219-222, 朝倉書店, 2004.

笹田昌孝: 樹状細胞の増殖する疾患. 「血液の事典」平井久丸, 押味和夫, 坂田洋一編, p 222-223, 朝倉書店, 2004.

笹田昌孝: 高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン (第1版) 解説. 「今日の治療指針2004年版付録診療ガイドライン」福井次矢編, p 1560-1564, 医学書院, 2004.

笹田昌孝: 海外文献紹介 食事と痛風—12年間の追跡調査—. 高尿酸血症と痛風, 12(12): 168, 2004.

笹田昌孝: これからの望ましい医療をめざして. 痛風, 第416号, p 8-9, 2004.

笹田昌孝: 好中球機能低下例に合併する感染症における薬剤の選択について. *Intravenous Quinolones*, No 4, p 10-11, (株)メディカルトリビューン, 2004.

藤田正俊: Featured research in ACS: State of the art therapies. *AHA Highlights 2003*, 篠山重威 編, TMCカンパニー 206-213, 2004.

丹原圭一, 藤田正俊, 田畑泰彦, 米田正始: ゼラチン水和ゲルによる徐放化システムを用いた bFGF (塩基性線維芽細胞増殖因子) の今後の展望—動物実験から臨床応用へ—. *Cardiovascular Med-Surg*, 6(3): 351-357, 2004.

藤田正俊: 虚血心筋への血行再建 (巻頭言). 呼吸と循環, 52(10): 989, 2004.

藤田正俊: レニン—アンジオテンシン系. *Medical Technology*, 32(13): 1488-1489, 2004.

川寄伸子: 糖鎖生物学の目「糖鎖と補体活性 (1)」薬の知識, ライフサイエンス出版(株), 55(9): 22, 2004.

川寄伸子: 糖鎖生物学の目「糖鎖と補体活性 (2)」薬の知識, ライフサイエンス出版(株), 55(10): 14, 2004.

船渡忠男：造血器腫瘍における新しい遺伝子診断法の開発. 臨床病理, 52: 162-166, 2004.

船渡忠男：遺伝子検査標準化. Lab CP, 22: 34-37, 2004

船渡忠男, 鈴木佳子：遺伝子増幅法—PCR とゲルによる解析. 臨床病理レビュー, 128: 170-179, 2004.

船渡忠男, 佐藤多代：更年期と性腺関連ホルモン. 臨床病理レビュー, 131: 93-97, 2004.

船渡忠男：遺伝子検査. 「スタンダード検査血液学」日本検査血液学会編, 174-175, 医歯薬出版, 東京, 2004.

船渡忠男：輸血・免疫血清検査—遺伝子. 「検査・検査値まるわかり事典」森三樹雄 編, 246-249, 西東社, 東京, 2004.

船渡忠男, 佐々木 毅：高ガンマグロブリン血症の検索手順. 「内科診療 Q & A」, 128-131, 六法出版社, 名古屋, 2004.

船渡忠男, 藤巻慎一：遺伝子を検査する基本技術. 「一目でわかる遺伝子検査マニュアル」遺伝子検査技術委員会編, 23-31, 日本臨床検査自動化学会, 東京, 2004.

後藤俊幸, 土肥良秋：「免疫電顕法」, 日本顕微鏡学会編 (山口, 大下, 後藤, 立花, 広畑 編集)「電顕入門ガイドブック」学会出版センター, 東京, 75-85, 2004.

#### 学会発表

Yamada H, Arai T, Endo N, Sasada M, Uchiyama T: The distinctive effects of reactive oxygen species (ROS) and redox status on the maturation of human monocyte-derived dendritic cells. The 46th Annual Meeting of The American Society of Hematology, Dec 4-7, 2004, San Diego, California. Blood, 104(11): 940a, 2004.

Hirata H, Murakami Y, Tanaka Y, Inoue K, Ishikawa M, Sasada M, Asahara T, Kawamata S: Divergent point of developmental cell fate of common precursor for cardiomyocyte and hemangioblast is accompanied by the presence or absence of expression of PDGFR $\alpha$  and Flk-1. The 46th Annual Meeting of the American Society of Hematology, Dec 4-7, 2004, San Diego, California, Blood, 104(11): 761a, 2004.

Nishimura T, Nishida N, Komeda T, Fukuda Y, Ikai I, Nakao K. Shortest region of overlap of recurrent chromosomal gains or losses in human hepatocellular

carcinoma detected by semi-quantitative comprehensive allelotype analysis. 95th Annual Meeting of the American Association for Cancer Research, 2004.3.27-31, Orlando, FL.

Miyamoto S, Ikemoto M, Ueda M, Naruko T, Itoh A, Hasegawa K, Fujita M: Increased expression of myeloid related protein in infiltrated neutrophils in coronary atherosclerotic plaques of patients with unstable angina. The 53rd Annual Scientific Session of the American College of Cardiology, 2004, 3, New Orleans.

Hosokawa R, Ohba M, Kambara N, Tadamura E, Kubo S, Yamamuro M, Fujita M, Kimura T, Nohara R, Kita T: The correlation of myocardial flow reserve to the washout of Tc-99m sestamibi in patients with chronic heart failure. The 68th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2004, 3, Tokyo.

Fujita M, Ikemoto M, Sakamoto S, Ogai A, Kitakaze M: Periodic acceleration for improvement of endothelial function in healthy adults. The 68th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2004, 3, Tokyo.

Miwa K, Fujita M: Low serum  $\alpha$ -tocopherol levels in subjects with various coronary risk factors. The 68th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, 2004, 3, Tokyo.

Premaratne GU, Tambara K, Lin X, Kanemitsu N, Nakajima H, Teishi Y, Ikeda T, Fujita M, Komeda M: Multiple-dose implantation is a better cell delivery method than single-bolus implantation in skeletal myoblast transplantation to infarcted hearts. The 77th Scientific Meeting of the American Heart Association, 2004, 11, New Orleans.

Tambara K, Ohba M, Hosokawa R, Premaratne GU, Kanemitsu N, Lin X, Nakajima H, Yamamoto M, Tabata Y, Fujita M, Ikeda T: Effects of skeletal myoblast transplantation, bFGF administration, and the combination on tissue blood flow and left ventricular remodeling in rat infarcted hearts: comparison using pinhole SPECT. The 77th Scientific Meeting of the American Heart Association, 2004, 11, New Orleans.

Fujita M, Sakamoto S, Tambara K, Doi K, Watanabe M, Yamanaka K, Sugimoto A, Yamazato A: Dual aldosterone production in patients with left ventricular remodeling: analysis of pericardial fluid at open heart surgery. The 77th Scientific Meeting of the American Heart Association, 2004, 11, New Orleans.



Kawasaki N, Terada M, Inoue R, Kadowaki N, Khoo K-H, Kawasaki T: MBP-ligand oligosaccharides associated with an anti-tumor activity to human colon Cancer cells. Joint Conference of US Society of Glycobiology/Japanese Society of Carbohydrate Research 2004, Honolulu, USA, 2004.11.17-20, Glycobiology, 14(11): 1106, 2004.

Terada M, Inoue R, Kadowaki N, Kawasaki N, Khoo K-H, Kawasaki T, Kawasaki N: Characterization of mannan-binding protein ligands expressed on human colon cancer cell. 第77回日本生化学会大会, 2004.10.13-16, 横浜, 生化学, 76(8): 1015, 2004.

Kataoka H, Amano S: Immunoelectron microscopy for cytological investigation. 15th International congress of cytology, 2004, 4, 13, Santiago.

Ishikawa O, Ishiguro R, Yamashita M, Sasaki Y, Fukuda K, Kubota M, Ishimoto H, Packard R E, Takagi T, Ohmi T, Mizusaki T: Rotating  $^3\text{He-A}$  in a Narrow Cylinders: Vortex nucleation and spontaneous angular momentum in textures. International Symposium on Quantum Fluids and Solids Trento (Italy), 2004.

Ishikawa O, Ishiguro R, Yamashita M, Sasaki Y, Fukuda K, Kubota M, Ishimoto H, Packard RE, Takagi T, Ohmi T, Mizusaki T: Intrinsic angular momentum in superfluid  $^3\text{He-A}$  in narrow cylinders. International Symposium on Quantum Fluids and Solids Trento (Italy), 2004.

Ishiguro R, Ishikawa O, Yamashita M, Sasaki Y, Fukuda K, Kubota M, Ishimoto H, Packard RE, Takagi T, Ohmi T, Mizusaki T: Rotating  $^3\text{He-A}$  in a narrow cylinders: Vortex nucleation and spontaneous angular momentum in textures. 東京大学物性研究所・国際ワークショップ, 2004.

Kitajiri S, Fukumoto K, Hata M, Sasaki H, Nakagawa T, Tae Soo Kim, Ito, J, Tsukita Sh, Tsukita Sa: Radixin deficiency causes deafness associated with progressive degeneration of cochlear stereocili. 第57回日本細胞生物学会大会, 大阪市, 5.19-21, 2004.

Umemura S, Azuma T, Hayashi T: Clutter-free doppler detection of signed velocity based on legendre series expansion. 2004 IEEE Ultrasonics Symposium, 2004.8.24-27, Montreal, Canada.

Sasaki A, Azuma T, Kamada H, Hayashi T, Nishimura T, Umemura S: Adaptive noise reduction process based

on gray-level concentrative filter for CW doppler spectrogram. 2004 IEEE Ultrasonics Symposium, 2004.8.24-27, Montreal, Canada.

Asafusa K, Azuma T, Shinomura R, Kanda H, Umemura S: Ultrasound imaging system using combinational coded excitation. 2004 IEEE Ultrasonics Symposium, 2004.8.24-27, Montreal, Canada.

Kawabata K, Waki Y, Matsumura T, Umemura S: Tissue mimicking phantom for ultrasonic elastography with finely adjustable elastic and echographic properties. 2004 IEEE Ultrasonics Symposium, 2004.8.24-27, Montreal, Canada.

Azuma T, Umemura S, Furuhashi H: Prototype dual frequency bilaminar array transducer capable of therapeutic exposure at 500 kHz and doppler monitoring at 2 MHz. 2004 IEEE Ultrasonics Symposium, 2004.8.24-27, Montreal, Canada.

Azuma T, Kawabata K, Umemura S, Ogihara M, Kubota J, Sasaki A, Furuhashi H: Schlieren observation of therapeutic field in water surrounded by cranium radiated from 500 kHz ultrasonic sector transducer. 2004 IEEE Ultrasonics Symposium, 2004.8.24-27, Montreal, Canada.

Gelderblom HR, Mannel A, Tajiri-Utagawa E, Goto T: Diagnostic electron microscopy in infectious diseases consultant lab for diagnostic EM in infectious diseases. 8th Asia-Pacific Conference on Electron Microscopy, 2004.6.7-11, Kanazawa.

Goto T, Hasegawa T, Takaoka A, Ikuta K, Hayami M: Entry of human immunodeficiency virus by electron microscopy. 8th Asia-Pacific Conference on Electron Microscopy, 2004.6.7-11, Kanazawa.

Goto T, Kido T, Fujioka Y, Morita C, Sano K, Hayami M: An improved procedure of electron microscopic in situ hybridization (EM-ISH) for detecting viral nucleic acids. 8th Asia-Pacific Conference on Electron Microscopy, 2004.6.7-11, Kanazawa.

Goto T, Sasayama S, Umeda A, Yazaki K, Tsukii Y: Construction of the pathogenic bacteria database system including micrographs. 8th Asia-Pacific Conference on Electron Microscopy, 2004.6.7-11, Kanazawa.

Wu Hong, Sano K, Morimatsu S, Scott DR, Weeks DL, Sachs G, Goto T, Mohan S, Harada F, Nakajima N, Nakano T: Medium pH dependent redistribution of the urease of *Helicobacter pylori*. 8th Asia-Pacific

Conference on Electron Microscopy, 2004.6.7-11, Kanazawa.

Goto, T: Introduction of virus ultrastructures: the case of AIDS virus, Okazaki Afternoon Seminar "in vitro to in vivo ultrastructural study of virus infection", 2004.6.11, Okazaki.

Mohan S, Goto T, Kohno T, Nakano T, Harada F, Kiso Y, Yoshioka S, Sano K.: Conjugate drug KNI-1039: A novel delivery method for anti-HIV-1 drugs AZT and protease inhibitor KNI-727. 第18回近畿エイズ研究会学術集会, 2004.6.12, 大阪.

Horiuchi R, Ido E, Akahata W, Enose Y, Ibuki K, Miura T, Goto T, Takahashi H, Hayami M: DNA vaccination of macaques by full-sized SHIV plasmids that produce non-infectious virus particles. Symposium on protective immunity against HIV/SIV and development of MHC-defined rhesus macaques, 2004.7.19-20, Miyazaki.

Horiuchi R, Ido E, Akahata W, Enose Y, Ibuki K, Miura T, Goto T, Takahashi H, Hayami M: DNA vaccination of macaques by full-sized SHIV plasmids that produce non-infectious virus particles. The Awaji International Forum on Infection and Immunity, 2004.8.30-9.2, Hyogo.

Horiuchi R, Ido E, Akahata W, Enose Y, Ibuki K, Goto T, Takahashi H, Miura T, Hayami M: DNA vaccination of macaques by full-sized SHIV plasmids that produce non-infectious virus particles. 22nd Annual Symposium on Nonhuman Primate Models for AIDS, 2004.11.3-6, San Antonio, USA.

笹田昌孝: 感染症に伴う好中球機能亢進による病態形成. 第66回日本血液学会総会, 第46回日本臨床血液学会総会, 合同シンポジウム, 2004.9.17-19, 京都.

伊藤洋志, 平田大二, 山下浩平, 笹田昌孝: 好中球の機能制御における Purines —好中球の諸機能修飾作用—. 第37回日本痛風・核酸代謝学会総会, 2004.2.5-6, 米子, 第37回日本痛風・核酸代謝学会総会プログラム・抄録集, 68頁.

山田絃子, 荒井俊之, 笹田昌孝, 内山 卓: 樹状細胞機能に対する活性酸素種 (ROS) の役割. 第66回日本血液学会総会, 2004.9.17-19, 京都, 臨床血液, 45 (8): 939, 2004.

伊藤洋志, 山田絃子, 平田大二, 山下浩平, 山本孝吉, 笹田昌孝: プリン体による好中球の  $O_2$ —放出能と遊走能に対する修飾作用. 第66回日本血液学会総

会, 2004.9.17-19, 京都, 臨床血液, 45 (8): 939, 2004.

福田善弘, 西田直生志, 米田俊貴: 難治性C型肝炎に対する BDD (Biphenyl Dimethyl Dicarboxylate) の有効性の検証. 第90回日本消化器病学会総会, 2004.4.21-23, 宮城.

福田善弘, 笠原群生, 岩崎信二: 原発性胆汁性肝硬変における進展例, 非進展例での HLA 解析. DDW-Japan, 2004.10.21-24, 福岡.

福田善弘, 西田直生志, 米田俊貴, 西村貴文, 中尾一和, 千葉 勉: 原発性肝細胞癌に対する集学的治療の現状—肝発癌, 再発予防に対するインターフェロン治療を中心に—. 第7回京大病院がん研究会, 2004.2.13, 京都.

鍋島紀滋, 丸澤宏之, 妹尾 浩, 児玉裕三, 西田直生志, 米田俊貴, 西村貴文, 福田善弘, 千葉勉: C型慢性肝炎 (genotype 2a, 初回治療) に対するコンセンサスインターフェロン8週間投与の試み. 第42回京都肝疾患懇話会, 2004.2.28, 京都.

米田俊貴, 千葉 勉, 西村貴文, 皆田睦子, 福田善弘, 姫野泰雄: IFN 投与中に一過性の脂肪肝増悪を認めた慢性C型肝炎の一例. 第6回癸肝臓研究会, 2004.10.16, 京都.

福田善弘, 池本正生, 米田俊貴, 西田直生志, 西村貴文, 中村 肇: 難治性C型肝炎に対する BDD (Biphenyl Dimethyl Dicarboxylate) の有効性の検証. 第6回癸肝臓研究会, 2004.10.16, 京都.

西村貴文, 西田直生志, 米田俊貴, 福田善弘, 猪飼伊和夫, 中尾一和: 肝細胞癌における染色体欠失および重複の最小共通領域の検討. 第12回浜名湖シンポジウム, 2004.12.23-24, 静岡.

藤田正俊: 心嚢液成分解析による高血圧性心疾患の病態解明. ミカルデイス発売1周年記念講演会, 2004.1, 福井.

天野 殖, 早瀬ヨネ子, 芹川忠夫, 横山正男, 伊原信夫: 白内障ラットモデル (IER) の病理形態学と遺伝学的研究 (ワークショップ). 第93回日本病理学会総会, 2004.6.11, 札幌.

西田南海子, 三國信啓, 江夏 怜, 林 直樹, 高橋潤, 橋本信夫, 早瀬ヨネ子, 天野 殖, 中嶋安彬: 腫瘍と形成異常との組織学的鑑別が困難であった側頭葉てんかんの一例. 第22回日本脳腫瘍病理学会, 2004.5.20-21, 新潟.

三國信吾, 天野 殖: 皮質形成異常ラットの経時的行

動脳波モニタリングと免疫組織化学. 第38回てんかん学会, 2004. 10. 1, 静岡.

天野 殖, 早瀬ヨネ子, 高橋政代, 伊原信夫: イハラてんかんラット (IER) における網膜形成異常の病理形態学並びに遺伝様式について. 神経病理学会総会, 2004. 6, 前橋.

月田早智子: 細胞膜裏打ちタンパク質によるトランスポーターの分布の制御. 第26回生体膜と薬物の相互作用シンポジウム, 東京, 2004. 11. 25-11. 26.

田村 淳, 菊池正二郎, 勝野達也, 林 久由, 鈴木裕一, 月田承一郎, 月田早智子: エズリンノックダウンマウスの解析. 第27回日本分子生物学会年会, 神戸市, 2004. 12. 08-12. 11.

船渡忠男, 李 栄茂, 藤原淳子, 宗像靖彦, 石井智徳, 菅原 明, 張替秀郎, 賀来満夫, 国分正一, 佐々木 毅: SLE におけるグルココルチコイド受容体遺伝子の変異解析. 第51回日本臨床検査医学会総会, 2004. 9. 3-5, 東京, 臨床病理, 52, 補冊, 110, 2004.

高橋伸一郎, 張替秀郎, 石井恵子, 猪俣美津恵, 船渡忠男, 佐々木 毅, 賀来満夫: 急性骨髄性白血病における Flt3 過剰発現と NF $\kappa$ B 経路活性化の関連の検討. 第51回日本臨床検査医学会総会, 2004. 9. 3-5, 東京, 臨床病理, 52, 補冊, 83, 2004.

張替秀郎, 藤巻慎一, 高橋伸一郎, 船渡忠男, 佐々木 毅, 賀来満夫: 再生不良性貧血における造血幹細胞特異的遺伝子の発現. 第51回日本臨床検査医学会総会, 2004. 9. 3-5, 東京, 臨床病理, 52, 補冊, 154, 2004.

高橋伸一郎, 張替秀郎, 船渡忠男, 佐々木 毅, 賀来満夫: 急性骨髄性白血病における Flt3 過剰発現と p21<sup>WAF1/CIP1</sup> 高発現との関連の検討. 第51回日本臨床検査医学会総会, 2004. 9. 3-5, 東京, 臨床病理 52, 補冊, 281, 2004.

船渡忠男: 遺伝子定量と造血器腫瘍診断への応用. 日本臨床検査自動化学会第36回大会, 2004. 9. 29-30, 10. 1, 横浜, 日本臨床検査自動化学会会誌, 29(4): 278, 2004.

船渡忠男: DNA 修復遺伝子および低酸素反応遺伝子の siRNA による抗がん剤耐性の克服. 第14回アンチセンスシンポジウム, 2004. 12. 2-3, 横浜, 第14回アンチセンスシンポジウム講演要旨集, 41, 2004.

船渡忠男, 賀来満夫, 佐藤多代, 上原茂樹: 性分化異常 (XY 純粋型性腺形成不全症) に伴う性腺腫瘍における遺伝子解析. 第36回日本臨床検査医学会東北支部総会, 2004. 7. 31, 弘前, 第36回日本臨床検査医学会

東北支部総会抄録集, 16, 2004.

酒井栄一, 新美慎一, 李 雪, 森光子, 中川原寛一, 鈴木佳子, 船渡忠男: ライトサイクラーの最新アプリケーションのご紹介—Gene Silencing の効果判定, トランスジェニックプラントの定量ほか—. 日本農芸学会2004年度大会, 2004. 3. 29-30, 広島.

船渡忠男, 鈴木佳子, 高橋伸一郎, 張替秀郎, 賀来満夫, 吉川陽子: キメラ遺伝子検出のための簡易型 cDNA マイクロアレイの開発. 第5回日本検査血液学会学術集会, 2004. 7. 3-4, 札幌, 日本検査血液学会雑誌 5, S59, 2004.

船渡忠男: 定量 PCR を用いたウイルス遺伝子の検出法. 第23回日本臨床化学会夏期セミナー, 2004. 7. 15-17, 鹿児島.

船渡忠男: 遺伝子検査の基礎と将来. 第14回 PCR 感染症検査研究会, 2004. 11. 18, 東京.

後藤俊幸, 梅田昭子: 病原細菌データベースの構築, 第77回日本細菌学会, 2004. 4. 1-4. 3, 大阪, 日本細菌学雑誌 59(1): 74, 2004.

後藤俊幸: ウイルス観察のための電顕技法, シンポジウム「微生物観察のための電顕技法」. 医学生物学電子顕微鏡技術学会第20回学術講演会および総会, 2004. 4. 24, 大阪.

後藤俊幸, 梅田昭子, 笹山 哲: 病原細菌データベースの作成. 第57回日本細菌学会関西支部総会, 2004. 10. 30, 京都, 日本細菌学雑誌, 59: 74, 2004.

後藤俊幸, 木曾良明, 佐野浩一: HIV 感染過程と HIV 阻害剤の作用機序, 第36回日本臨床電子顕微鏡学会, 2004. 11. 5-6, 熊本, 第36回日本臨床電子顕微鏡学会総会ならびに学術集会講演プログラム・予稿集: 57, 2004.

山手政伸, Jiranan Warachit, 山下真紀子, 後藤俊幸, 柚木幹弘, 辻祥太郎, 生田和良: 重症急性呼吸器症候群 (SARS) コロナウイルス持続感染細胞の樹立とその解析, 第52回日本ウイルス学会総会, 2004. 11. 21-23, 横浜, 第52回日本ウイルス学会学術集会プログラム・抄録集: 257, 2004.

堀内勲生, 井戸栄治, 赤畑 渉, 榎瀬良美, 伊吹健太郎, 後藤俊幸, 高橋秀美, 三浦智行, 速水正憲: 非感染性粒子を産生する SHIV フルゲノムプラスミドを用いた DNA ワクチンのサルにおける感染防御効果, 第52回日本ウイルス学会総会, 2004. 11. 21-23, 横浜, 第52回日本ウイルス学会学術集会プログラム・抄録集: 218, 2004.

李桂梅, Jiranan Warachit, 岩部幸枝, 李永剛, Madiha S Ibrahim, 小路早苗, 辻祥太郎, 後藤俊幸, 山本大助, 林 良雄, 木曾良明, 生田和良: HIV-1 Env gp41 の heptad repeat ペプチド (C34) の HIV-1 サブタイプ間の比較, 第18回日本エイズ学会学術集会・総会, 2004, 静岡市, 日本エイズ学会誌, 6(4): 509, 2004.

池本正生, 伊藤洋志, 田中紘一, 村山 寛, 戸谷誠之, 藤田正俊: LPS 誘導肝炎モデルにおける MRP8/14 の機能的役割について (その1), 臨床病理, 第51回日本臨床検査医学会総会, 補冊, Vol 52, p 249, 2004.

池本正生, 伊藤洋志, 田中紘一, 戸谷誠之, 福田善弘: 抗アルギナーゼ自己抗体に対する新しい ELISA の開発およびその臨床的意義について. 臨床病理, 第51回日本臨床検査医学会総会, 補冊, Vol 52, p 241, 2004.

大塚研一: ラプラス作用素の固有値分布について (第10回~第11回). 龍谷大学科学技術共同研究センター連続講演会, 2004. 1. 14-23, 大津.

### 理学療法学専攻

#### 論 文

Aoyama T, Okamoto T, Nagayama S, Nishijo K, Ishibe T, Yasura K, Tsuboyama T, Nakayama T, Nakashima Y, Nakamura T, Toguchida J: Expression of the chondromodulin-1 gene in chondrosarcomas. *Cancer Lett*, 204: 61-68, 2004.

Kasai S, Shimizu M, Matsumura T, Okudaira S, Matsushita M, Tsuboyama T, Nakamura T, Hosokawa M: Consistency of low bone density across bone sites in SAMP6 laboratory mice. *J Bone Miner Metab*, 22(3): 207-214, 2004.

Nishijo K, Nakayama T, Aoyama T, Okamoto T, Ishibe T, Yasura K, Shima Y, Shibata KR, Tsuboyama T, Nakamura T, Toguchida J.: Mutation analysis of the RECQL4 gene in sporadic osteosarcomas. *Int J Cancer*, 111(3): 367-72, 2004.

Fujiyama F, Kuramoto E, Okamoto K, Hioki H, Zou L, Furuta T, Nomura S, Kaneko T: Presynaptic localization of an AMPA-type glutamate receptor in corticostriatal and thalamostriatal axon terminals. *European Journal of Neuroscience*, 20(12): 3322-3330, 2004.

Kuroki H, Nakagawa Y, Mori K, Ikeuchi K, Nakamura

T: Mechanical effects of autogenous osteochondral surgical grafting procedures and instrumentation on grafts of articular cartilage. *Am J Sports Med*, 32(3): 612-620, 2004.

Kuroki H, Nakagawa Y, Mori K, Ohba M, Suzuki T, Mizuno Y, Ando K, Takenaka M, Ikeuchi K, Nakamura T: Acoustic stiffness and change in plug cartilage over time after autogenous osteochondral grafting: correlation between ultrasonic signal intensity and histological score in a rabbit model. *Arthritis Res*, 6: R492-R504, 2004.

Nakagawa Y, Mastusue Y, Suzuki T, Kuroki H, Nakamura T: Osteochondral grafting for cartilage defects in the patellar grooves of bilateral knee joints. *Arthroscopy*, 20(6, suppl 1): 32-38, 2004.

佐野禎一, 中山富貴, 中村孝志, 坪山直生, 戸口田淳也: 骨肉腫に対する人工膝関節置換術の成績. 中部整災誌, 47: 151-152, 2004.

井関雅紀, 中山富貴, 中村孝志, 戸口田淳也, 坪山直生: 術中体外照射骨で再建した肩甲骨ユーイング肉腫の1例. 中部整災誌, 47: 176-177, 2004.

細川昌則, 清水基行, 坪山直生: 老年性骨粗鬆症関連遺伝子の同定とその機能解析 コンジェニックマウスを用いた分子遺伝学的研究 (第2報). 代謝異常治療研究基金研究業績集, 31: 135-139, 2004.

坪山直生, 竹村俊一, 石橋 孝, 橋本周三, 中村孝志: 転倒経験と健康観の関連. *Osteoporosis Japan*, 12: 391-3, 2004.

島 浩人, 依岡 徹, 吉本和徳, 神先秀人, 坪山直生, 中村孝志: 大腿骨頸部骨折を起こしやすい転倒方向について—転倒装置を用いた分析—. *Osteoporosis Japan*, 12: 394-402, 2004.

坪山直生: 大腿骨近位部骨折の発生機序. *関節外科*, 23(12): 1534-1537, 2004.

黒木裕士, 森永敏博, 池添冬芽, 大畑光司, 家城弘, 濱 弘道: 空気圧を利用した部分荷重トレッドミル歩行が消費エネルギーに及ぼす影響—人工股関節置換術後患者での測定—. *理学療法学*, 31(5): 319-324, 2004.

黒木裕士, 中川泰彰, 森 浩二, 鈴木 隆, 水野泰行, 安東慶治, 池内 健, 中村孝志: 骨軟骨移植術が移植骨軟骨プラグに及ぼす影響—超音波装置による硬さ, 表面粗さおよび厚さの術中評価—. *日本膝関節学会誌*, 29(1): 106-109, 2004.

中川泰彰, 鈴木 隆, 松末吉隆, 黒木裕士, 中村孝志: 膝関節骨軟骨疾患における残存軟骨の予後. 日本膝関節学会誌, 29(2): 46-48, 2004.

黒木裕士: 障害者の道路横断に関する実践的調査研究および電子マップの作成—2. 第34回三菱財団事業報告書平成15年度, pp 514-516, 2004.

森 浩二, 中川泰彰, 黒木裕士, 中嶋啓介, 池内健, 峯孝友, 中村孝志, 河合伸也, 斉藤俊: 超音波を利用した関節軟骨の非接触評価. 日本機械学会論文集(A編), 70(700): 1764-1771, 2004.

市橋則明, 池添冬芽, 大畑光司, 岡 英世, 三浦元, 才藤栄一: 自転車エルゴメーターによる高負荷短時間のペダリングトレーニングが下肢筋に与える影響. 理学療法学, 31(6): 369-374, 2004.

市橋則明, 大畑光司, 伊吹哲子: 筋力低下に対する運動療法の基礎. 理学療法ジャーナル, 38(9): 709-716, 2004.

市橋則明, 池添冬芽: 筋力増強のメカニズム. 理学療法, 21(3): 468-475, 2004.

岩下篤司, 市橋則明, 池添冬芽, 大畑光司: ペダリング動作における下肢筋の筋電図学的分析. 理学療法学, 31(2): 135-142, 2004.

原 良昭, 吉田正樹, 松村雅史, 市橋則明: 積分筋電図による筋活動の評価: 電気学会論文誌, C124(2): 431-435, 2004.

池田耕二, 玉木 彰, 中塚奈々, 村田磨優, 宮崎昌之: 末期癌患者の緩和ケアにおける理学療法の役割に関する一考察, PT ジャーナル, 38(10): 865-869, 2004.

玉木 彰: 在宅酸素療法と呼吸リハビリテーション. 京都大学医療技術短期大学部紀要別冊健康人間学, 16: 24-34, 2004.

玉木 彰・長谷川 聡・陳 和夫: COPD 急性増悪後の呼吸リハビリテーションと運動—呼吸リズム同調を意識した運動トレーニング—. COPD FRONTIER, 3(2): 85-89, 2004.

池添冬芽, 市橋則明, 大畑光司, 岩下篤司: ステップエクササイズにおける下肢筋の筋電図学的検討. 健康科学, 1: 14-18, 2004.

池添冬芽: 高齢者の体力づくり. 健康科学, 1: 39-45, 2004.

大畑光司, 市橋則明, 竹村俊一: 外側ウェッジが歩行

に与える影響—筋電図学的分析を中心に—. 理学療法学, 31(3): 175-181, 2004.

大畑光司, 市橋則明: 健常成人における体重免荷歩行の下肢筋電図解析. 理学療法学, 31(5): 283-290, 2004.

## 著 書

野村 巖: 第3章 関節と靱帯. 「標準理学療法学・作業療法学シリーズ解剖学」, 第2版, 野村 巖 編集, 医学書院, 東京, 161-215, 2004.

野村 巖: 第5章 末梢神経系. 「標準理学療法学・作業療法学シリーズ解剖学」, 第2版, 野村 巖 編集, 医学書院, 東京, 342-377, 2004.

野村 巖: 第2章 細胞の構造と機能. 「電顕入門ガイドブック」, 日本顕微鏡学会編, 学会出版センター, 東京, 4-24, 2004.

黒木裕士: 京都府介護サービス評価検討委員会「平成15年度介護サービス第三者評価試行実施事業. 第三者評価結果」, 1-221, 2004.

黒木裕士: 京都府介護サービス評価検討委員会「介護サービス第三者評価. 受診の手引」, 1-61, 2004.

黒木裕士: 京都府介護サービス評価検討委員会「介護サービス評価への支援. 平成15年度介護保険制度における第三者評価の取組に関するガイドライン」, 1-72, 2004.

玉木 彰, 陳 和夫: 呼吸リハビリテーション 呼吸器病学総合講座 (和田洋巳・三嶋理晃 編), メディカルレビュー社, 東京, 177-184, 2004.

玉木 彰: 関節リウマチ 臨床実習フィールドガイド (石川 朗, 他 編), 南江堂, 東京, 290-303, 2004.

## 学会発表

Tsuboyama T, Takemura T, Ishibashi T, Hashimoto S, Nakamura T: Health-related quality of life in relation to recent falls. 11eme Réunion de la Société Franco-Japonaise d'Orthopédie, 2004.11.6, Kobe.

Kambara K, Nomura S, Maemura K, Hayasaki H, Tamayama T, Okamoto K, Watanabe M: Cellular localization of GABA and GABAB receptor during spermiogenesis in rat testis. 16th International Congress of the IFAA, 2004.8.22-27, Kyoto.

Fujiyama F, Kuramoto E, Okamoto K, Hioki H, Zou L, Furuta T, Nomura S, Kaneko T: Presynaptic localization of an AMPA-type glutamate receptor in corticostriatal and thalamostriatal axon terminals.

16th International Congress of the IFAA, 2004.8.22-27, Kyoto.

Kuroki H, Nakagawa Y, Mori K, Suzuki T, Takenaka M, Mizuno Y, Ando K, Ikeuchi K, Nakamura T: Biomechanical and acoustic effects of autogenous osteochondral grafting procedures on articular cartilage. The 11th ESSKA 2000 Congress, Athens, Greece, 2004.5.5-8, Abstracts & Presentations' Hand Outs of 11th ESSKA 2000 Congress, p 278, abstract #540, 2004.

Kuroki H, Nakagawa Y, Mori K, Suzuki T, Ikeuchi K, Nakamura T: Stiffness, surface irregularity and thickness of plug cartilage of autogenous osteochondral grafting surgery: A comparison with cartilage lesion and adjacent intact cartilage using an ultrasonic system. The 5th ICRS Symposium, International Congress Center ICC, Gent, Belgium, 2004.5.26-29, Abstract Book of 5th ICRS Symposium, p 29, abstract #277, 2004.

Otani H, Kaya M, Tamaki A, Tsujita J, Hori S: Fluid intake sufficient to replace dehydration attenuates hyperthermia and body fluid imbalance during exercise. American College of Sports Medicine. 51st Annual meeting, 2004.6.2-5, Indianapolis, USA. Med Sci Sports Exerc, 36(suppl) : S315, 2004.

Tamaki A, Hasegawa S, Tsujita J, Hori S: Effect of new facilitation system of locomotor respiratory coupling on cardiopulmonary response during exercise. 9th Annual congress European College of Sports Science, 2004.7.3-6, Clermont-Ferrand, France.

Tamaki A, Hasegawa S, Chin K, Mishima M: Application of the new facilitation system of locomotor respiratory coupling for pulmonary rehabilitation of patients with respiratory failure. 50th International Respiratory Congress, 2004.12.3-7, New Orleans, USA.

坪山直生: 大腿骨頸部骨折の予防に向けて. 浜松臨床協議会, 2004. 2. 19, 浜松.

坪山直生, 竹村俊一, 石橋 孝, 橋本周三, 中村孝志: 転倒経験と健康観の関連. 第10回近畿骨粗鬆症研究会, 2004. 2. 21, 大阪.

島 浩人, 依岡 徹, 吉本和徳, 神先秀人, 坪山直生, 中村孝志: 大腿骨頸部骨折を起こしやすい転倒方向について. 第10回近畿骨粗鬆症研究会, 2004. 2. 21, 大阪.

坪山直生, 清水基行, 中村孝志: 原発性骨粗鬆症患者の転倒歴と健康観. 第102回中部日本整形外科学会, 2004. 3. 26-7, 松山.

坪山直生: 骨粗鬆症診療での留意点. 滋賀県整形外科医会, 2004. 4. 10, 大津.

西庄功一, 中山富貴, 青山朋樹, 岡本 健, 石部達也, 安良 興, 嶋 靖子, 柴田弘太郎, 坪山直生, 中村孝志, 戸口田淳也: 骨肉腫における RECQL4 遺伝子の変異解析. 第37回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会, 2004. 7. 15-16, 東京, 日整会誌, 78 (6) : S570, 2004.

中山富貴, 坪山直生, 戸口田淳也, 中村孝志: 未分化紡錘・多形細胞肉腫に対する化学療法の有効性. 第37回日本整形外科学会骨軟部腫瘍学術集会, 2004. 7. 15-16, 東京日整会誌, 78 (6) : S634, 2004.

清水基行, 奥平修三, 中西りか, 大槻文悟, 中村孝志, 坪山直生, 樋口京一, 森 政之, 細川昌則: マウス第13染色体骨量制御遺伝子座の解析. 第22回日本骨代謝学会学術集会, 2004. 8. 5-7, 大阪.

坪山直生: 骨折予防を目指した骨粗鬆症診療. 下京医師会生涯教育講演会, 2004. 9. 16, 京都.

神先秀人, 伊橋光二, 南角 学, 中村孝志, 坪山直生, 島 浩人: 転倒動作の運動力学的解析. 第53回東日本整形災害外科学会, 2004. 9. 25, 山形, 東日本整形災害外科学会雑誌, 16 (3) : 482, 2004.

坪山直生: 高齢者の骨折予防. 兵庫県芦屋市健康大学・一般公開講座, 2004. 10. 7, 芦屋.

坪山直生: 骨粗鬆症の概念の変化と薬物治療. 第4回京都病院薬剤師会学術講演会, 2004. 10. 21, 京都.

清水基行, 坪山直生, 森 政之, 中西りか, 奥平修三, 中村孝志: マウス第13染色体骨量制御遺伝子座の Subcongenic Mouse を用いた解析. 第19回日本整形外科学会基礎学術集会, 2004. 10. 21-22, 東京, 日整会誌, 78 (8) : S1066, 2004.

清水基行, 奥平修三, 中西りか, 大槻文悟, 中村孝志, 坪山直生, 細川昌則, 樋口京一: マウス第11染色体骨量制御遺伝子同定の試み. 第53回関西カルシウム懇話会, 2004. 10. 23, 大阪.

奥平修三, 清水基行, 坪山直生, 大槻文悟, 中西りか, 中村孝志: SAM マウスのX染色体の最大骨量に及ぼす影響. 第6回日本骨粗鬆症学会, 2004. 11. 17-20, さいたま.

坪山直生, 石橋 孝, 橋本 周三, 清水基行, 中村孝志: 転倒経験が自己の健康評価に及ぼす影響—骨粗鬆症患者と一般在宅女性での検討—. 第6回日本骨粗鬆症学会, 2004. 11. 17-20, さいたま.

野村 巖：コ・メディカルの解剖学実習の充実に向けて—一本シンポジウムの背景とねらい—。第16回国際解剖学会，コメディカル形態機能学研究会シンポジウム，2004. 8. 22-27，京都。

黒木裕士，中川泰彰，森 浩二，鈴木 隆，竹中 慎，水野泰行，安東慶治，池内 健，中村孝志：骨軟骨移植術の手術手技が移植骨軟骨プラグに及ぼす影響。第29回日本膝関節学会，2004. 2. 13-14，広島，第29回日本膝関節学会プログラム・抄録集，135，2004。

中川泰彰，鈴木 隆，黒木裕士，中村孝志：膝関節骨軟骨疾患における残存軟骨の予後。第29回日本膝関節学会，2004. 2. 13-14，広島，第29回日本膝関節学会プログラム・抄録集，25，2004。

黒木裕士，林 章敏，黒田英樹，橋本茂治，塩治龍介，仲 正宏：リハビリテーションの実施内容。第9回日本緩和医療学会総会，2004. 6. 17-18，札幌，第9回日本緩和医療学会総会プログラム演題抄録集，163，2004。

黒木裕士，中川泰彰，森 浩二，竹中 慎，池内 健，中村孝志：関節軟骨の加齢変化：ウサギ膝における超音波測定。第19回日本整形外科学会基礎学術集会，2004. 10. 21-22，東京，日本整形外科学会雑誌，78(8)：S853，2004。

鈴木 隆，中川泰彰，森 浩二，黒木裕士，池内 健，中村孝志：超音波による変形性膝関節症の軟骨の力学的・形態的特性の評価。第19回日本整形外科学会基礎学術集会，2004. 10. 21-22，東京，日本整形外科学会雑誌，78(8)：S854，2004。

中川泰彰，森 浩二，小林雅彦，鈴木 隆，黒木裕士，池内 健，中村孝志：骨軟骨移植術後の再鏡視における関節軟骨の力学的評価の試み。第30回日本関節鏡学会，2004. 12. 3-4，東京。

黒木裕士，中川泰彰，森 浩二，小林雅彦，安良 興，鈴木 隆，水野泰行，安東慶治，大橋徹夫，池内 健，中村孝志：超音波を用いたヒトおよび動物の軟骨硬度測定—骨軟骨移植術を中心に—。健康科学集談会，2004. 12. 24，京都。

市橋則明：筋機能トレーニングの理論と実際。大分県理学療法士会研修会講演，2004. 8. 8，大分。

市橋則明：筋力トレーニング再考。日本理学療法士協会現職者講習会「下肢の運動学と理学療法」，2004. 10. 9-11，京都。

市橋則明：膝関節の運動学。日本理学療法士協会現職者講習会「下肢の運動学と理学療法」，2004. 10. 9-11，

京都。

市橋則明：膝関節のトレーニングの実際。日本理学療法士協会現職者講習会「下肢の運動学と理学療法」，2004. 10. 9-11，京都。

市橋則明：筋の機能とトレーニング。ポスター研究会，2004. 11. 20-21，京都。

市橋則明，大畑光司：ステップマシントレーニングが下肢筋力，バランス能力，パフォーマンスに与える影響。第18回日本バイオメカニクス学会，2004. 9. 9，鹿児島，第18回日本バイオメカニクス学会大会論集，200-201，2004。

武田織江，布川雄二郎，辻恵津子，大西理華，市橋則明：リンパ浮腫に対する理学療法。第14回京都府理学療法士学会，2004. 1. 11，京都，京都理学療法士会会誌，33：70-71，2004。

岩下篤司，市橋則明，池添冬芽，大畑光司：ペダリング動作，トレッドミル歩行およびスクワット動作における下肢筋の筋活動の比較。第14回京都府理学療法士学会，2004. 1. 11，京都，京都理学療法士会会誌，33：66-67，2004。

前田和之，市橋則明，中村孝志：広背筋の部位別の働きとその強化方法に関する筋電図学的分析。第14回京都府理学療法士学会，2004. 1. 11，京都，京都理学療法士会会誌，33：62-63，2004。

市橋則明，坪山直生，大畑光司：バランスリーチトレーニングおよびステップマシントレーニングが膝屈伸筋力とバランス能力に与える影響。第39回日本理学療法学会，2004. 5. 27-29，宮城，理学療法学，31 (Suppl 2)：169，2004。

加藤典子，市橋則明，坪山直生：閉鎖神経を切除した2症例の運動学的考察—股関節内転筋群の役割—。第39回日本理学療法学会，2004. 5. 27-29，宮城，理学療法学，31 (Suppl 2)：55，2004。

塚越累，大畑光司，市橋則明，江口 悟，奥村秀雄：人工股関節置換術後における股・膝関節周囲筋の筋力推移。第39回日本理学療法学会，2004. 5. 27-29，宮城，理学療法学，31 (Suppl 2)：359，2004。

伊吹哲子，市橋則明，中川泰彰，中村孝志：前十字靱帯再建術施行患者における術前および術後早期の脚伸展筋力。第39回日本理学療法学会，2004. 5. 27-29，宮城，理学療法学，31 (Suppl 2)：68，2004。

岩下篤司，市橋則明，池添冬芽，大畑光司：ペダリング動作における体幹および股関節周囲筋の筋活動。第39回日本理学療法学会，2004. 5. 27-29，宮城，理

学療法学, 31 (Suppl 2) : 65, 2004.

島 浩人, 池添冬芽, 市橋則明: ボールを用いたブリッジ動作の筋電図学的検討. 第39回日本理学療法学会大会, 2004. 5. 27-29, 宮城, 理学療法学, 31 (Suppl 2) : 11, 2004.

羽崎 完, 市橋則明: 顎関節肢位変化が頸部周囲筋の活動に及ぼす影響—胸鎖乳突筋と僧帽筋上部線維についての検討—. 第18回日本バイオメカニクス学会, 2004. 9. 9, 鹿児島, 第18回日本バイオメカニクス学会大会論集, 136-137, 2004.

玉木 彰, 長谷川聡, 辻田純三, 堀 清記, 吉田光伸, 水庫 功: 自転車エルゴメーターに附属する呼吸—運動リズム同調現象促進システムプログラムの開発と臨床応用. 第39回日本理学療法学会大会, 2004. 5. 27-29, 宮城, 理学療法学, 31 (Suppl 2) : 221, 2004.

長谷川 聡, 玉木 彰, 辻田純三, 堀 清記, 吉田光伸, 水庫 功: 運動—呼吸リズム同調現象が定負荷運動時の呼吸循環反応に与える影響. 第39回日本理学療法学会大会, 2004. 5. 27-29, 宮城, 理学療法学, 31 (Suppl 2) : 313, 2004.

玉木 彰: 臓器移植における呼吸理学療法. 呼吸理学療法セミナー, 2004. 7. 17-20, 札幌.

玉木 彰, 長谷川 聡, 陳 和夫, 中神いづみ, 三嶋理晃: 呼吸リハビリテーションにおける運動—呼吸同調システムの応用. 第14回日本呼吸管理学会, 2004. 8. 6-7, 埼玉, 日本呼吸管理学会誌, 14 (1) : 155, 2004.

長谷川 聡, 陳 和夫, 玉木 彰, 三嶋理晃: 当院における COPD 急性増悪後の理学療法アプローチ. 第14回日本呼吸管理学会, 2004. 8. 6-7, 埼玉, 日本呼吸管理学会誌, 14 (1) : 174, 2004.

高橋憲一, 陳 和夫, 玉木 彰, 長谷川 聡, 小川晃平, 笠原群生, 上田幹子, 江川裕人, 田中紘一, 三嶋理晃: 熱中症に対する生体肝移植後の呼吸管理にNPPV が有効であった一例. 第14回日本呼吸管理学会, 2004. 8. 6-7, 埼玉, 日本呼吸管理学会誌, 14 (1) : 193, 2004.

玉木 彰: 呼吸理学療法のためのフィジカルアセスメント. 日本理学療法士協会現職者講習会「呼吸理学療法の理論と実際」, 2004. 9. 18-20, 京都.

玉木 彰: 外科術後の呼吸理学療法. 日本理学療法士協会現職者講習会「呼吸理学療法の理論と実際」, 2004. 9. 18-20, 京都.

石垣 享, 小山勝弘, 辻田純三, 玉木 彰, 賀屋光

晴, 山下陽一郎, 堀 清記: 日常の身体活動量が少ない若年助成の身体組成. 第59回日本体力医学会, 2004. 9. 14-16, さいたま.

玉木 彰: 臨床で役立つ呼吸リハビリテーション入門. 京都呼吸ケア研究会, 2004. 10. 23, 京都.

玉木 彰: COPD 急性増悪後の呼吸リハビリテーション. 京滋呼吸器疾患勉強会, 2004. 11. 27, 京都.

池添冬芽, 市橋則明, 大畑光司, 島 浩人, 岩下篤司: ボールエクササイズの筋電図学的検討—ボール上座位での重心移動方法の違いによる筋活動の変化—. 第39回日本理学療法学会大会, 2004. 5. 27-29, 宮城, 理学療法学, 31 (Suppl 2) : 364, 2004.

池添冬芽, 浅川康吉, 島 浩人: 長期間の運動プログラムが高齢者の体力および移動動作能力に及ぼす影響. 第46回日本老年医学会学術集会, 2004. 6. 16-18, 千葉, 日本老年医学会雑誌, 41 (Suppl) : 163, 2004.

池添冬芽: 高齢者の体力づくり. 第17回京都大学医学部保健学科健康科学公開講座, 2004. 8. 28, 京都.

藤田容子, 池添冬芽: 自転車エルゴメーターとステップマシンにおける回転数および速度の違いが下肢筋の筋活動に及ぼす影響について. 第14回京都理学療法士学会, 2004. 1. 11, 京都, 京都理学療法士会会誌, 33 : 64-65, 2004.

島 浩人, 池添冬芽: 後期高齢者の昇段能力と膝伸展筋力および起居移動動作の関連について. 第46回日本老年医学会学術集会, 2004. 6. 16-18, 千葉, 日本老年医学会雑誌, 41 (Suppl) : 164, 2004.

大畑光司, 市橋則明: メンタルプラクティスが姿勢制御に与える影響. 第39回日本理学療法学会大会, 2004. 5. 27-29, 宮城, 理学療法学, 31 (Suppl 2) : 28, 2004.

大畑光司, 市橋則明: 床面の違いが着地動作における下肢筋活動に及ぼす影響. 第18回日本バイオメカニクス学会, 2004. 9. 9, 鹿児島, 第18回日本バイオメカニクス学会大会論集, 196-197, 2004.

竹村俊一, 市橋則明, 大畑光司: 膝関節伸展および屈曲筋力とペダリング動作による脚伸展筋力との関係. 第39回日本理学療法学会大会, 2004. 5. 27-29, 宮城, 理学療法学, 31 (Suppl 2) : 155, 2004.

## 作業療法学専攻

### 論 文

Toichi M, Findling RL, Kubota Y, Calabrese JR, Wiznitzer M, McNamara NK, Yamamoto K:



Hemodynamic differences in the activation of the prefrontal cortex: Attention vs higher cognitive processing. *Neuropsychologia*, 42: 698-706, 2004.

十一元三: 広汎性発達障害の神経科学的基盤—扁桃体・辺縁系障害説を中心に—. *実践障害児教育*, 32(2): 10-15, 2004.

十一元三: 高機能自閉症とアスペルガー障害. *障害者問題研究* 32(2): 90-98, 2004.

十一元三: アスペルガー障害の神経学的基盤. *精神科*, 5(1): 6-11, 2004

十一元三: 青年期以降の高機能広汎性発達障害. *精神科臨床サービス*, 4(3): 332-338, 2004.

十一元三: 広汎性発達障害の理解と支援. 自閉症・アスペルガー障害とその近縁. *静岡県児童相談紀要*, 35: 74-87, 2004.

十一元三: 広汎性発達障害を持つ少年の鑑別・鑑定と司法処遇—精神科疾患概念の歴史的概観と現状の問題点を踏まえ—. *児童青年精神医学とその近接領域*, 45: 236-245, 2004.

十一元三: アスペルガー障害と社会行動上の問題. *精神科治療学*, 19: 1109-1114, 2004.

十一元三: 広汎性発達障害における薬物療法. *精神科治療学*, 19: 1173-1178, 2004.

十一元三: 特集にあたって—近年の成果を混乱する現場へ—. *こころの臨床アラカルト*, 23: 241-243, 2004.

十一元三: 自閉症論の変遷. *こころの臨床アラカルト*, 23: 261-265, 2004.

十一元三, Prizant BM, Wetherby AM, Rubin E, Laurent AC: 近年の発達論的療育プログラム. *こころの臨床アラカルト*, 23: 317-320, 2004.

十一元三, 岡田 俊: 脳血行動態からみた高機能自閉症の前頭前野機能. *脳と精神の医学*, 15: 361-369, 2004.

岡田 俊, 十一元三, 扇谷 明: 側頭葉てんかんに伴う強迫症状が側頭葉前部切除術後に著明に改善した2症例. *強迫性障害の研究*, 5: 51-56, 2004.

山根 寛: 幻想と現実の分離・再統合における作業療法の機能—分裂病性強迫障害・認知障害の事例より—. *作業療法*, 23(2): 125-132, 2004.

山根 寛, 腰原菊恵, 服部裕子, 村上貴栄, 木下利

彦: 創作活動によるセルフコントロールプログラム—精神科デイケアにおける試みと事例を通して—. *作業療法*, 23(6): 539-54, 2004.

山根 寛: 活動の使い方—精神障害と作業—. *精神認知と OT*, 1(1): 65-71, 2004.

山根 寛: 健康科学と研究. *京都大学医療技術短期大学部紀要別冊*, 16: 2-4, 2004.

腰原菊恵, 山根 寛, 宮崎恵奈: 授産施設における地域支援. *精神認知と OT*, 1(2): 121-125, 2004.

山根 寛: 精神障害リハビリテーション領域におけるスーパーバイザーの育成. *精神障害とリハビリテーション*, 8(1): 35-39, 2004.

山根 寛: 園芸と作業療法. *作業療法*, 23(4): 311-314, 2004.

山根 寛: クライシス介入の背景と対応. *精神認知と OT*, 1(4): 283-286, 2004.

山根 寛: 福祉チームの深層理解—園芸療法. *月刊福祉*, 7: 84-87, 2004.

山根 寛: 芸術療法, 音楽療法, 園芸療法, 動物介在療法. *総合リハビリテーション*, 32(9): 867-871, 2004.

山根 寛, 腰原菊恵: 幻想と現実の分離・再統合における作業療法の機能—統合失調症性強迫障害・認知障害の事例より—. *作業療法*, 23(2): 125-132, 2004.

種村留美: 失認症例のアクティビティにみられる障害と適応. *高次脳機能研究*, 24(2), 164-167, 2004.

種村留美: 高次脳機能障害への評価と治療介入—半側無視と失行症を中心に—. *理学療法*, 京都33, 19-23, 2004.

加藤寿宏: 視知覚と言語発達の基盤となる身体・感覚・運動. *ボバースジャーナル*, 27(1): 55-59, 2004.

加藤寿宏: コミュニケーションの発達—広汎性発達障害児と共に遊びを楽しむために—. *感覚統合研究*, 10: 1-8, 2004.

酒井 浩, 大山 隆, 金子 翼, 土井田 稔: 改良型 Finger Escape Sign の有用性. *総合リハ*, 32(5): 475-478, 2004.

大山 隆, 中山美穂香, 村中由香, 酒井 浩, 伊藤智永子: 外出を支援する携帯型リーチャー. *OT ジャーナル*, 38: 472-474, 2004.

著 書

山根 寛：移ることの障害とアプローチ，山根 寛編著，2-15，三輪書店，東京，2004.

山根 寛：精神科リハビリテーション看護，山根 寛責任編集・著，18-30，32-38，154-159，185-189，中山書店，東京，2004.

学会発表

山根 寛，腰原菊恵，梶原香里，岩佐順子：治療構造の転換が作業療法の場におよぼす影響と対処—インフォーマルな場を生かす技と心—．第38回日本作業療法士学会，2004. 6，長野，作業療法，23 Suppl：98，2004.

腰原菊恵，山根 寛：「僕の考えることがみんな漏れてしまう」—思考伝播に苦しむ症例との作業療法から—．第38回日本作業療法士学会，2004. 6，長野，作業療法，23 Suppl：355，2004.

岡本英恵，山根 寛：新たな場や失敗を回避する症例—具体的な活動を介した自分との出会い—．第38回日本作業療法士学会，2004年 6 月，長野，作業療法，23 Suppl：348，2004.

山根 寛：くらしの変化に応じる技と心—治療から社会参加支援へ—．第38回日本作業療法士学会，2004. 6，長野，作業療法，23 Suppl：57，2004.

石田順子，高原世津子，中村孝志，酒井 浩，種村留美，田原明夫：聴覚入力による PQIRST 法を用い，言語性記憶の改善を呈した外傷性脳損傷の一例．第38回日本作業療法学会，2004. 6，長野.

種村留美，鎌倉矩子，八田達夫：エラー特性分類表を用いた失行症例の検査場面と生活場面での動作・行為特徴の検討．第38回日本作業療法学会，2004. 6，長野.

濱島まり子，本多賢光，興呂木祐子，平田好文，又吉達，種村留美：観念失行を呈した症例への OT ア

プローチ—作業活動を通して—．第38回日本作業療法学会，2004. 6，長野.

中田 修，種村留美，田原明夫，中村孝志：高次脳機能障害患者の就労支援への取り組み—関連機関の連携を踏まえて—．第38回日本作業療法学会，2004. 6，長野.

赤松智子，島真理子，宇野明，平井義久，吉田靖史：ユニバーサルデザインを考慮した織機のリハビリテーションへの適応．第19回リハビリテーション工学カンファレンス，2004. 8. 25-27，札幌，第19回リハビリテーション工学カンファレンス講演論文集：299-300，2004.

宇野明，島真理子，赤松智子，平井義久，吉田靖史：手織りを趣味活動として導入した介護老人保健施設での作業療法．第24回近畿作業療法学会，2004. 11. 23，和歌山，第24回近畿作業療法学会論文集：97-99，2004.

伊吹美希子，加藤寿宏：不安の強かった児童がダイナミックな活動を好きになるまで．第38回日本作業療法学会，2004. 6，長野.

阿部真由子，連 政江，加藤寿宏：知的障害者サービスでの取り組み—「やりたい」活動に向けて—．第38回日本作業療法学会，2004. 6，長野.

加藤寿宏：軽度発達障害児に作業療法は何を支援できるのか．第37回日本作業療法士協会全国研修会，2004. 10，佐賀.

加藤寿宏，西岡陽子：「もっと動きたい・もっと遊びたい」を支援する感覚統合．第22回日本感覚統合障害研究大会，2004. 11，高松.

加藤寿宏：自閉症スペクトラムへの支援の実際—感覚過敏な子どもの見方とその指導方法・内容について—．第25回京都府障害児教育研究大会，2004. 12，園部.